

第1款 714MHz 超 3.4GHz 以下の周波数の利用状況の概況

(1) 北海道総合通信局管内の主な概要

管轄地域	北海道
管轄地域の免許人数 (注)	12,308 者
管轄地域の無線局数 (注)	13,007,774 局

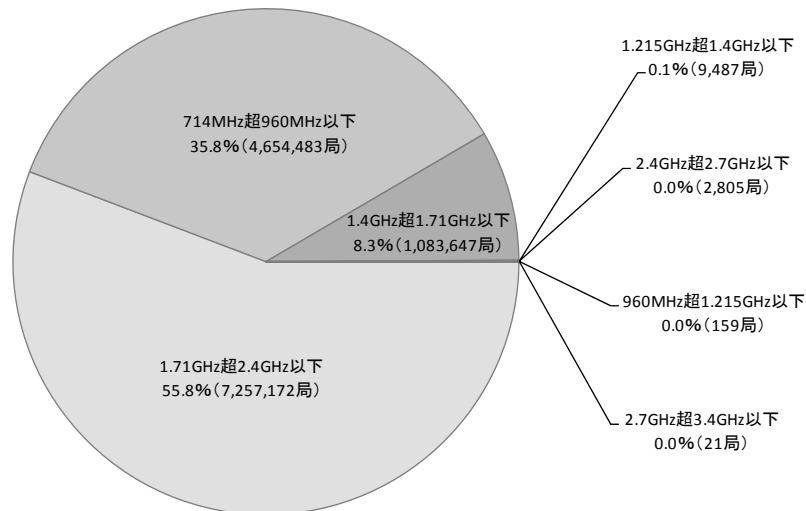
(注) 714MHz 超 3.4GHz 以下の周波数を利用しているもの

(2) 714MHz 超 3.4GHz 以下の周波数の利用状況の概要

714MHz を超え 3.4GHz 以下の周波数帯域を 7 の周波数区分に分けて、その周波数区分ごとに評価する。

無線局数の割合については、1.71GHz を超え 2.4GHz 以下の周波数の電波を使用している無線局が最も高く、全体の 55.8% を占めている。次いで、714MHz を超え 960MHz 以下の周波数の電波を使用している無線局が 35.8% を、1.4GHz 超 1.71GHz 以下の周波数の電波を使用している無線局が 8.3% を占めている。これら 3 つの周波数区分で全体の 99.9% を占めている (図表-北-1-1)。

図表-北-1-1 北海道局管内における周波数区分ごとの無線局数の割合及び局数

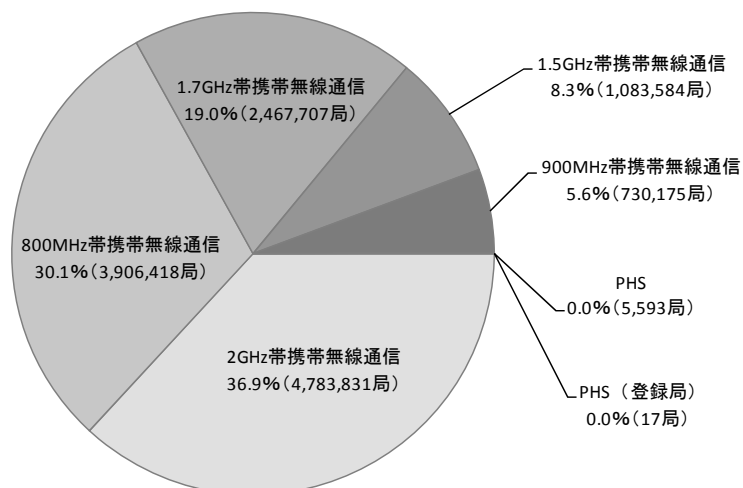


*1 グラフ中の割合表示は小数第二位を四捨五入し表示しているため、割合の合計値は100%にはならないことがある。

*2 グラフ中で無線局数の割合が0.05%未満の場合は、0.0%と表示している。

北海道総合通信局管内における携帯無線通信及び PHS の無線局数の割合は、2 GHz 帯携帯無線通信が 36.9%と最も高く、次いで 800MHz 帯、1.7GHz 帯、1.5GHz 帯、900MHz 帯と続いている。PHS については、陸上移動局が免許不要局であるため、無線局数は低い割合になっている（図表－北－1－2）。

図表－北－1－2 北海道局管内における無線局数の割合及び局数（携帯・PHS）



*1 グラフ中の割合表示は小数第二位を四捨五入し表示しているため、割合の合計値は100%にはならないことがある。

*2 グラフ中で無線局数の割合が0.05%未満の場合は、0.0%と表示している。

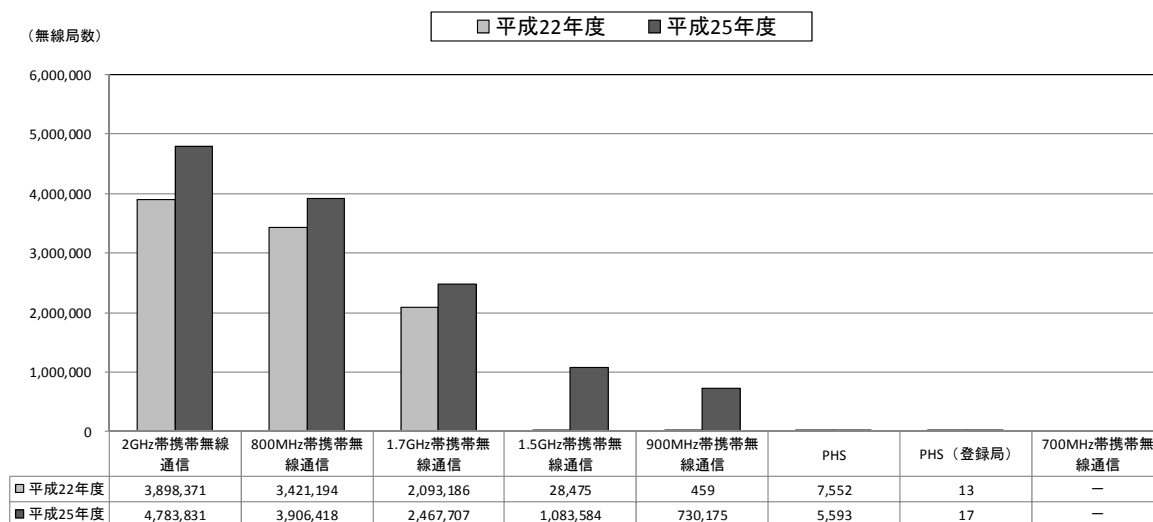
北海道総合通信局管内における携帯無線通信及び PHS の無線局数の推移を平成 22 年度調査時と比較すると、携帯無線通信の無線局数は多くの周波数帯で増加している。特に 1.5GHz 帯と 900MHz 帯において大幅に増加している。

1.5GHz 帯については、平成 22 年調査時は第 2 世代移動通信システムに使用されており、第 3 世代移動通信システム（3.5 世代及び 3.9 世代移動通信システムを含む。）への移行が進んでいたため、無線局数が減少傾向にあったが、平成 23 年から同帯域においても第 3 世代移動通信システムに使用され始めたことにより、無線局数が大幅に増加している。

900MHz 帯については、900MHz 帯の周波数再編後、平成 24 年 7 月より携帯無線通信に使用され始めたことにより、無線局数が大幅に増加している。

また、PHS については、免許局から登録局に移行する傾向が見られる（図表－北－1－3）。

図表－北－１－３ 北海道局管内における無線数の推移（携帯・PHS）（経年比較）

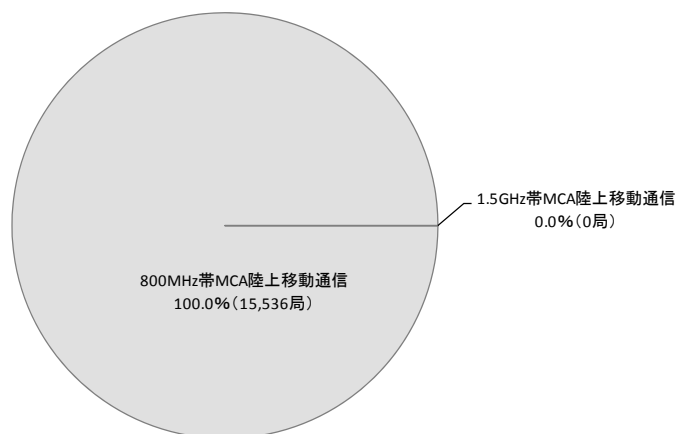


* [-]と表示されている場合は、該当システムが存在しないことを示している。

北海道総合通信局管内における MCA 陸上移動通信の無線局数の割合について、使用周波数帯別にみると 800MHz 帯が 100.0%、1.5GHz 帯が 0%となっている。

平成 22 年に 1.5GHz 帯システムのサービスを停止したことに伴い、800MHz 帯のみの運用となっている（図表－北－１－４）。

図表－北－１－４ 北海道局管内における無線局数の割合及び局数（MCA）

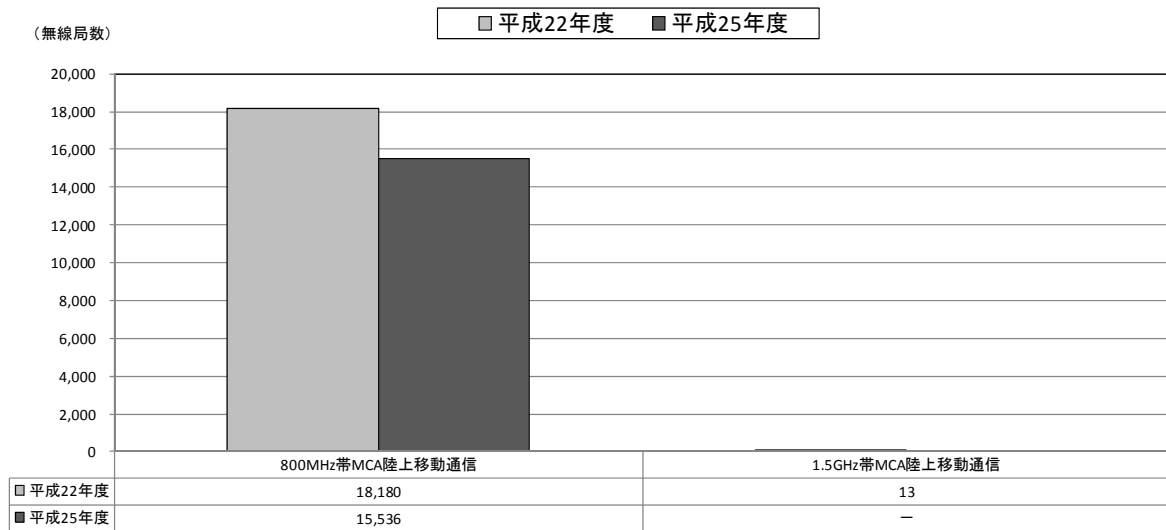


*1 グラフ中の割合表示は小数第二位を四捨五入し表示しているため、割合の合計値は100%にはならないことがある。

*2 グラフ中で無線局数の割合が0.05%未満の場合は、0.0%と表示している。

北海道総合通信局管内における MCA 陸上移動通信の無線局数を平成 22 年度調査時と比較すると、800MHz 帯及び 1.5GHz 帯ともに減少している。1.5GHz 帯については、平成 26 年 3 月末までに停波し、携帯無線通信に新たに割り当てることとなっている。平成 22 年度調査時は全国において運用されていたが、今回調査時に北海道局管内では運用されていない。800MHz 帯については、アナログ方式からデジタル方式に移行を進めているところである（図表－北－１－５）。

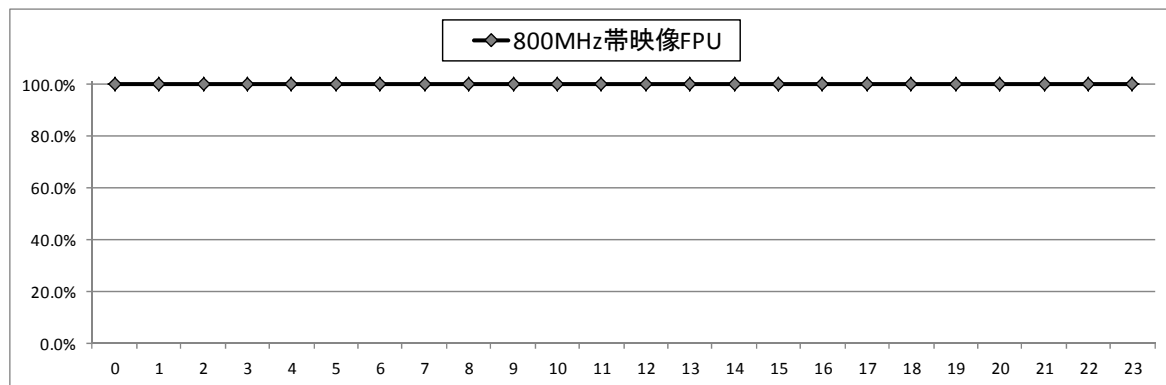
図表－北－１－５ 北海道局管内における無線局数の推移（MCA）（経年比較）

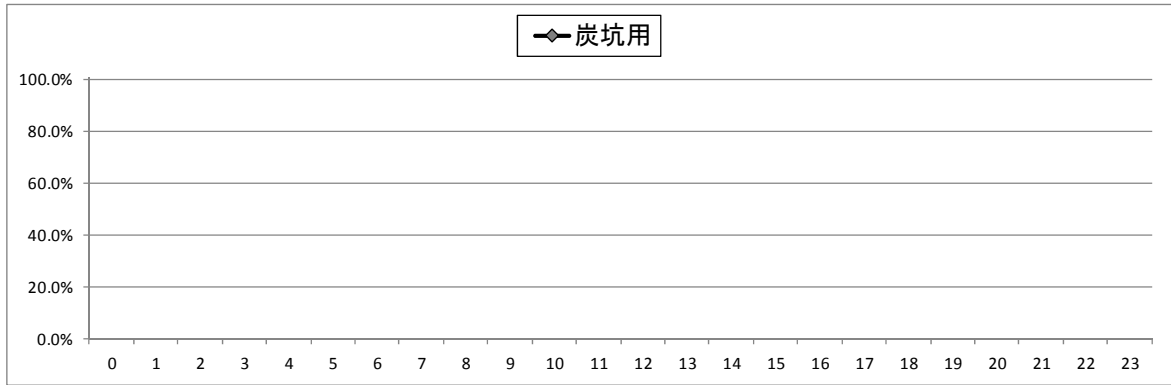


* [-]と表示されている場合は、該当システムが存在しないことを示している。

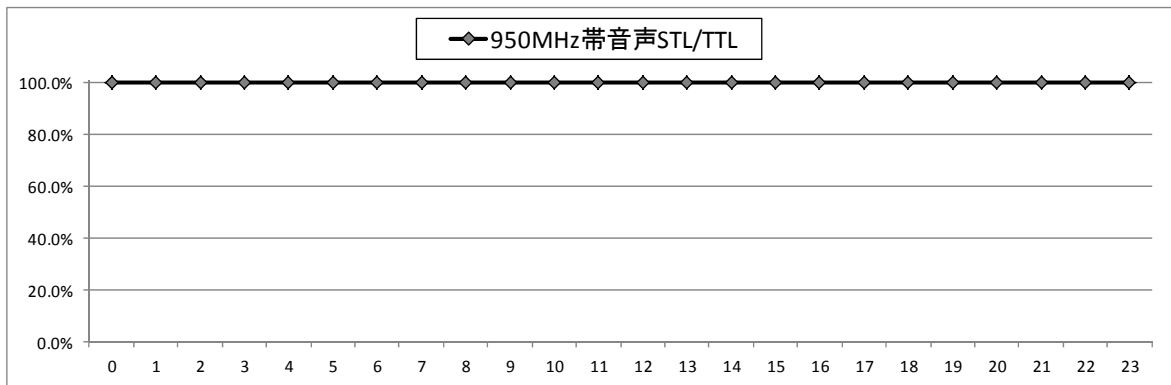
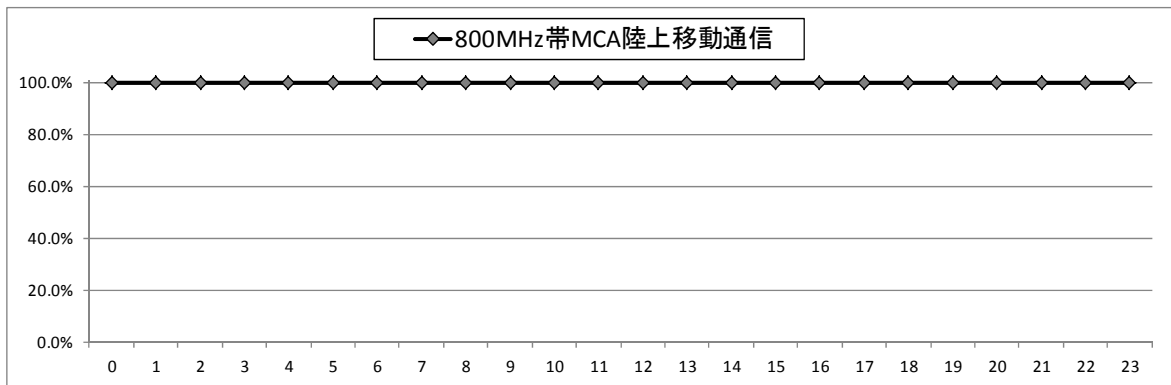
714MHz を超え 3.4GHz 以下の周波数の電波を使用している主な無線システムが運用されている時間帯については、24 時間連続した運用となっている。ただし、炭鉱用、インマルサットシステム、MTSAT システム、1.6GHz 帯気象衛星及び N-STAR 衛星移動通信システムは、北海道局管内で免許されたシステムがない(図表－北－１－６～12)。

図表－北－１－６ 北海道局管内における通信が行われている時間帯毎の割合
(714MHz 超 960MHz 以下)

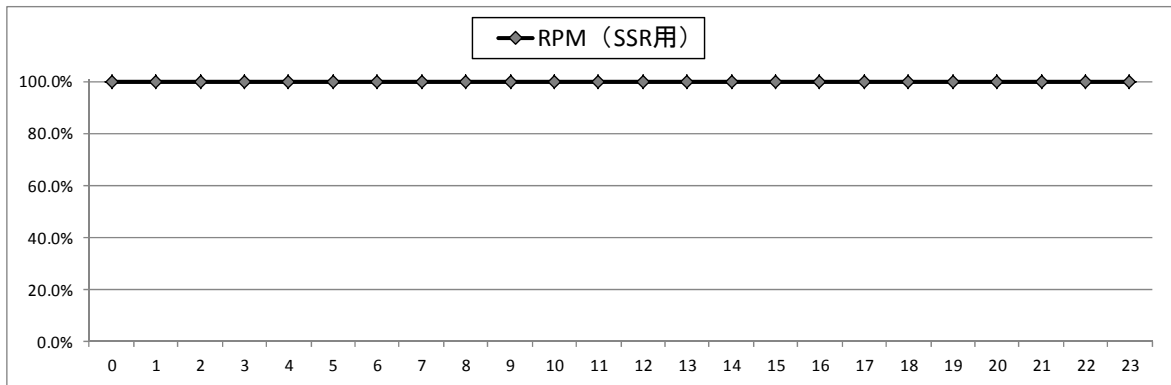
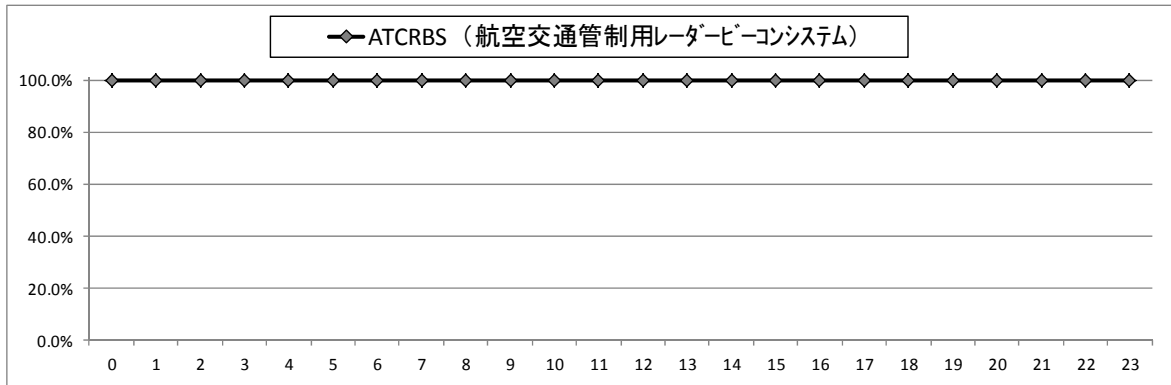
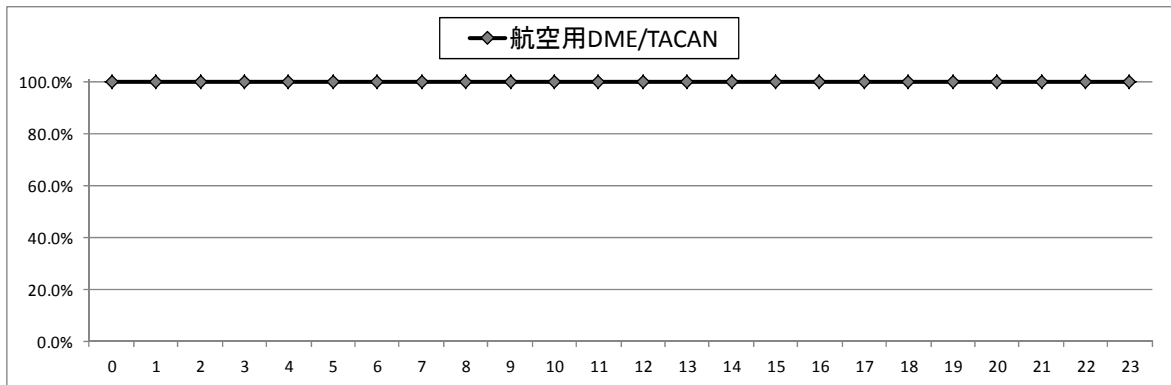




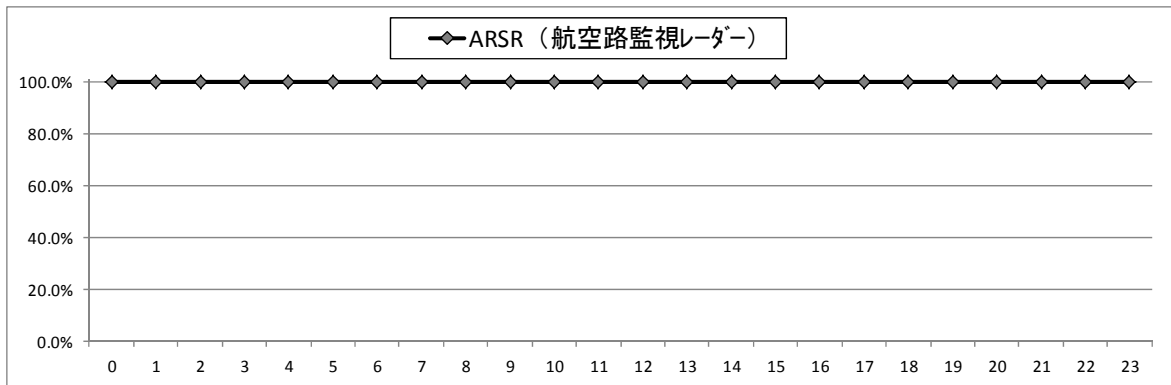
該当システムなし



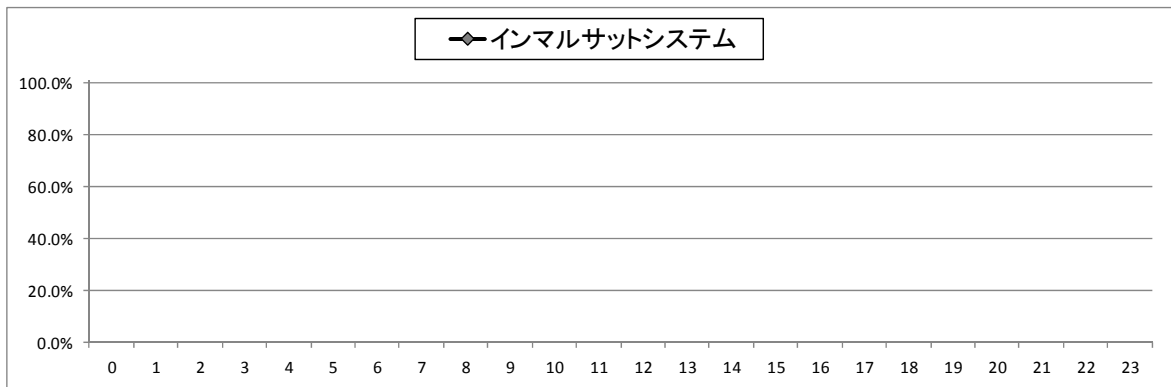
図表-北-1-7 北海道局管内における通信が行われている時間帯毎の割合
(960MHz 超 1.215GHz 以下)



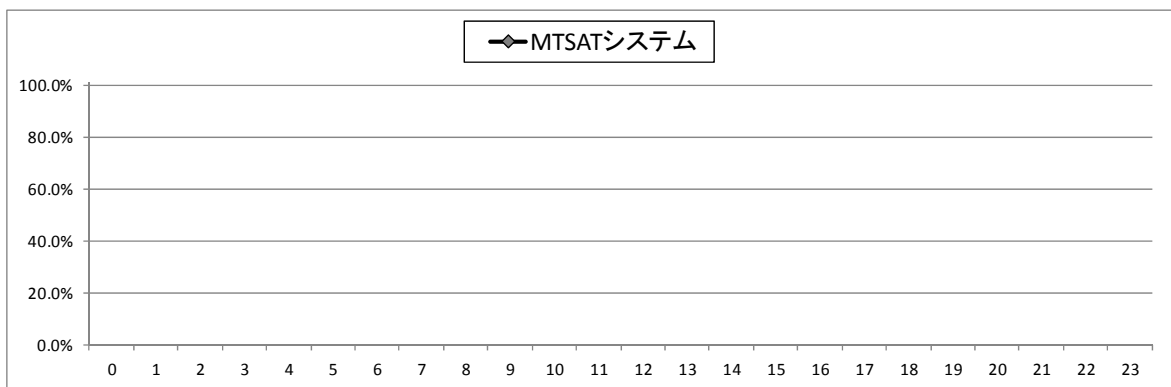
図表-北-1-8 北海道局管内における通信が行われている時間帯毎の割合
(1.215GHz 超 1.4GHz 以下)



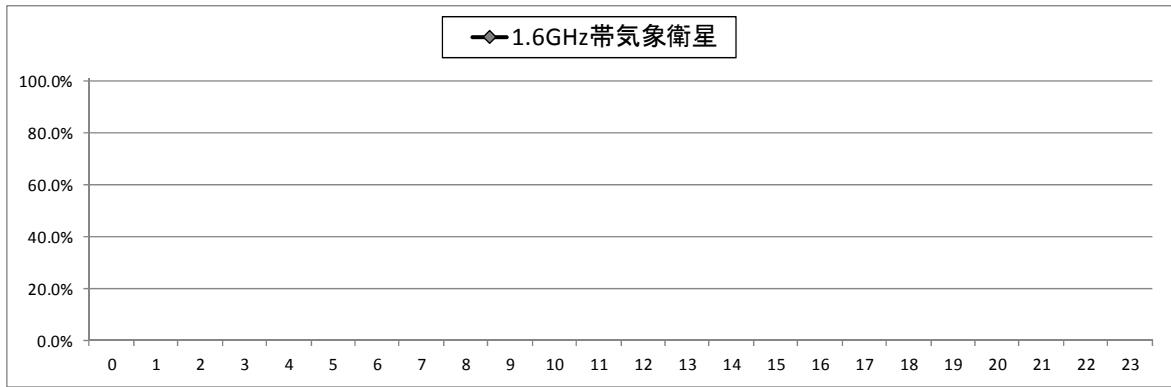
図表-北-1-9 北海道局管内における通信が行われている時間帯毎の割合
(1.4GHz 超 1.71GHz 以下)



該当システムなし

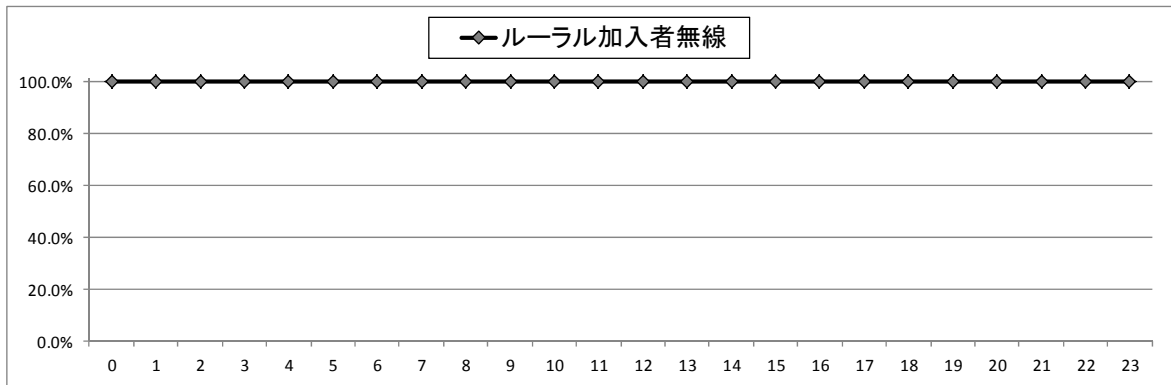


該当システムなし

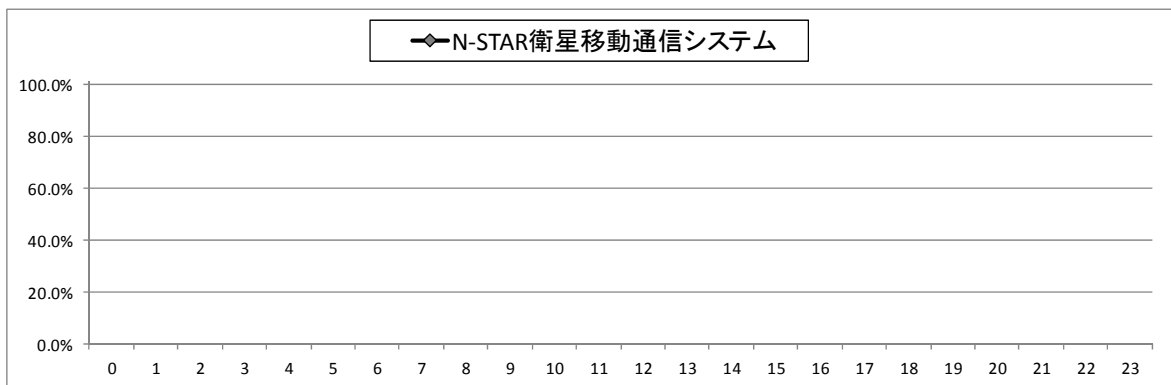


該当システムなし

図表一北一110 北海道局管内における通信が行われている時間帯毎の割合
(1.71GHz 超 2.4GHz 以下)



図表一北一111 北海道局管内における通信が行われている時間帯毎の割合
(2.4GHz 超 2.7GHz 以下)



該当システムなし

図表－北－1－1 2 北海道局管内における通信が行われている時間帯毎の割合
(2.7GHz 超 3.4GHz 以下)

